

# 来年度の取組について



## 来年度の取組について

- ① 第2回『今トラ』の開催
- ② 未咲輝ゼミ（放課後ゼミ）の本格始動
- ③ 学校設定科目の学習内容

※ライブ・ラーニングⅠ、せんたんコミュニケーション学Ⅰ

地域連携を通して基礎学力の向上

2 未咲輝ゼミ（佐田岬みつけ隊講座）資料

R5年度未咲輝ゼミ(地歴)活動報告

【第1回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
6月6日	地歴室	10名	キックオフ・石仏写真トレース

【実施内容】

1. 活動内容について

アンケートを実施した結果、興味があるのは

自然・歴史については23名。地形・地質（特にビュースポット、ジオスポット、陸や海の動植物など）

歴史・文化については15名。城や文化財（寺社関係など）、特に三崎水軍

物作りについては17名。菓子作りを含む料理作り、手芸・工作（レジンアート、押し花、ジオラマ）など

2. 石仏写真のトレース実習



石仏の彫刻技法など特徴をつかむため、町内ミニ88ヶ所から抜粋した石仏写真をトレースした。

## 【第2回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
6月17日	番匠鼻	7名	番匠鼻

### 【実施内容】

#### 1. 番匠鼻

佐田岬半島宇和海県立自然公園に指定され、佐田岬半島では珍しく駐車場から遊歩道が整備されており、珪質片岩の地質などを間近に観察することができた。遊歩道にはミニ四国八十八ヶ所霊場第二番から八十八番までの石仏が安置されていた。

##### ○感想

珪質片岩の層にも驚かされた。白と空の青、海の青が美しい場所だった。

景色に目を奪われた。石仏は神々しくどこか温もりを感じるお顔をしていた。

猛禽類が木に止まった瞬間が、映画のワンシーンのように見えた。

佐田岬半島には石仏が多いように感じる。手をつけられていない(未調査)からか。

虫や草木も珍しく、勉強になった。マルウンカの黒い個体は数匹も見た。ハマナタメ、ハマビク、ハマボスと、やっぱり海が近いと“ハマ”がつくのが多いと実感した。

#### 2. 神崎集会所

##### ○感想

どこにあるか気になっていた一番目の石仏を見つけて、なぜここにあるのかが分からず、すごく気になった。

#### 3. 川の浜八多喜寺

6月6日のゼミで、八多喜寺石仏と番匠鼻石仏の写真トレースで比較したこともあり、両者との違いを理解できた。犬が掘られた石仏やあこう樹に巻かれた五輪塔なども観察できた。

##### ○感想

石仏の違いが分かりやすく、近い場所でもこんなに違いがあつてびっくりしました。

#### 4. 川の浜海岸

海岸では、色々な種類の石があることなども感じながら散策するなど、ゆったりと時間を過ごした。

##### ○感想

すごく綺麗で姫路とは大違いですごくうらやましい。



## 【第3回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
7月10日	クルーズ船ほか	3名	クルーズ船、権現山、田部客神社

### 【実施内容】

#### 1. クルーズ船

はなはなを出航し、童子碇、小梶谷鼻、梶谷鼻を海上から見学した。特に梶谷鼻では石灰質片岩の見事な洞門が印象的だった。

この辺りは岩礁が多くあり、海を熟知した地元の漁師でなければ航行できないようなルートも難なく通り抜けた。梶谷鼻沖では、海士漁を見学することができた。

#### ○感想

大雨の中クルーズ船に乗れるという貴重な体験や、水底が見えないほどの深いところでサザエを取っているベテランの海士さんに会えた。

#### 2. 権現山展望台

標高376mの権現山駐車場に三机湾を一望できる展望台があり、未咲輝学で見学した須賀の森を眺望できた。

#### ○感想

展望台の駐車場では、開けた景色から見える宇和海がキラキラと光って綺麗だった。瀬戸内海と宇和海を1度に見られる貴重な場所だと感じた。

#### 3. 石鎚神社

権現山の山頂の石鎚神社では、寄進者の碑やユニークな狛犬を見学した。

#### ○感想

石鎚神社は、狛犬が可愛く、地元の狛犬をもっと観察してみたいと思った。興味が俄然湧いてきた。

#### 4. 田部客神社

境内には、独特の表現をした狛犬を見学した。

#### ○感想

道中、青春映画にでてくるような、ノスタルジックな風景だった。

狛犬も、個性的で怖さはなく人のような可愛い狛犬だった。

#### 5. 大久展望台

トイレ休憩のため立ち寄り、クルーズ船から見た梶谷鼻を見ることが出来た。

#### ○感想

車の中から見てはいたが、行く機会がなく興味があった。

展望台から見る景色は、木が邪魔だったが、すごく壮大で、クルーズで見た岩を探すこともできた。



## 【第4回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
7月18日	地歴室	2名	地歴室(調査…物作り検討)

### 【実施内容】

1. 6月6日のアンケート結果から「ものづくり」グループと「調査」グループの2つを提案した。

①「ものづくり」グループの例として、お菓子作りをテーマに、アイデア出し→レシピ作り→買い出し→試作など

②「調査」グループは、三崎水軍調査をテーマに、資料調査→フィールド調査→松森城のジオラマ作成→全員でハイキングなど

⇒概ね賛同してもらった(さらに石磨き、鉱物探索、寺社めぐり、レジンアートなども)。

2. ゼミの愛称(ネーミング)

現在出てきている例は、

①知って、学ぶ地歴教室 ②広げよう地歴の輪 ③地歴について考えよう!の3つ

⇒今後のゼミで議論していくこととなった。

3. テーマの設定

テーマを設定するまでには至らなかったが、「何をしたい」「何を見たい」「どこへ行きたい」など漠然と聞いた結果、「お菓子を作ってみたい」、「写真や動画を撮りたい」、「四国西予ジオミュージアムへ行きたい」などの声が上がった。

⇒四国西予ジオミュージアム見学などを検討することとした。

4. 今までの反省点から

連絡体制を整えてライングループや電話連絡も活用することとした。

リーダーを決定した。

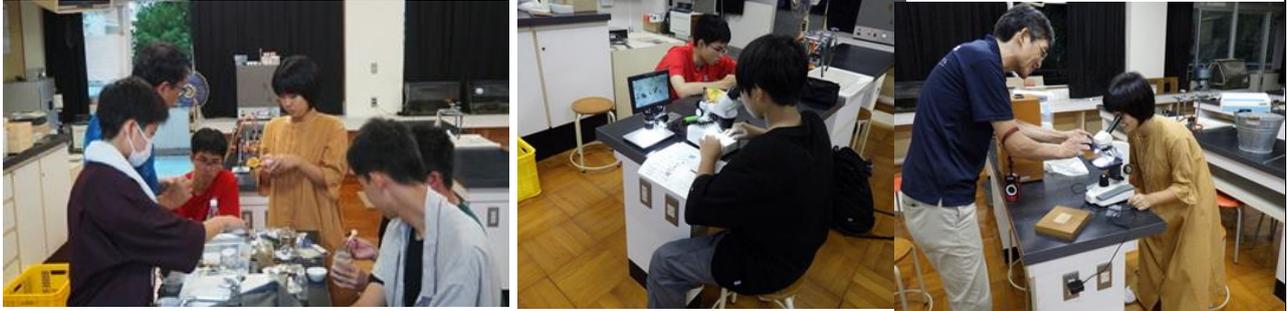


【第5回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
9月7日	生物教室	6名	火山灰中の鉱物・火山ガラス観察

【実施内容】

椀掛け法により火山灰（新燃岳、阿蘇、アカホヤ、赤玉など）をマイクロスコープと顕微鏡で観察し、どのような鉱物や火山ガラスが含まれているかを観察した。



【第6回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
9月16日	松森城、室之鼻ほか	2名	松森城事前調査、室之鼻(枕状溶岩)、伊方調整池

【実施内容】

松森城跡のジオラマを作成するにあたり、現地の事前調査を行いジオラマの元となる縄張り図の法量確認を行った。

その後、室之鼻枕状溶岩見学では、佐田岬半島の基盤となる緑色片岩は海底火山によるものであることを確認した。伊方調整池の見学を行い、佐田岬半島の貴重な水資源であることを実感した。



### 【第7回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
9月21日	地歴室	3名	松森城ジオラマ作成着手

#### 【実施内容】

松森城ジオラマ作成の手順を打合せした後、2枚の発泡スチロール板にそれぞれ縄張り図を貼り付け、カットしやすいように貼り付けた縄張り図の等高線に沿って、ナイフでカットした。



【第8回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
10月15日	八幡浜市、西予市	2名	佐田岬半島ミュージアム、笠置峠古墳、寺野変成岩露頭、西予ジオミュージアム、下相海底地滑り跡

【実施内容】

1. 佐田岬半島ミュージアム見学

今年8月に開館した佐田岬半島ミュージアムの展示を見学し、半島の自然や歴史・文化、人々の暮らしを実感した。

○感想

佐田岬半島ミュージアムに初めて行って佐田岬の地質や歴史に触れ、まだまだ奥が深いと感じた。土器や写真機などの詳しい説明を聞いて良かった。前回行った時より内容が頭に入りやすかった。

2. 笠置峠古墳

古墳の上から佐田岬半島を見ることができた。途中へんろ道の様子なども実感することができた。

○感想

笠置峠古墳は行くまでの道がすごく、また、上からの景色もきれいだった。

3. 寺野変成岩路頭観察

黒瀬川帯に属する古生代の変成岩の露頭を観察した。佐田岬半島を構成する中生代（白亜紀）の三波川帯の違いを実感した。

4. 西予ジオミュージアム(化石観察など)

ミュージアムでは、実際の化石サンプルを粘土に型を写し取り種類を判別するというワークショップ（化石観察）に参加して、化石の面白さに触れることができた。また、常設展示では大地の成り立ちから珍しい岩石などに触れることができた。

○感想

西予ジオミュージアムでは、化石の形を取る体験をして化石に興味を湧いてきた。

常設展示が一番楽しかった。興味のある四国カルストのことについて詳しく知れたので、とてもうれしかった。

5. 下相海底地滑り跡観察

ミュージアム付近の川原に海底地滑り跡を観察できる場所があり、実際に化石に触れることができた。

○感想

道の駅の横の川下相(海底地滑り跡)でメダカを取ろうとして失敗した。



【第9回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
10月19日	地歴室	4名	松森城ジオラマ作成

【実施内容】

縄張り図を張った発泡スチロール板2枚を等高線に沿ってニクロム線でカットし、裏側に接着剤をスプレーして重ね合わせ、松森城の骨格を作りあげた



【第10回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
10月26日	生物教室	4名	松森城ジオラマ作成

【実施内容】

松森城ジオラマの骨格を、紙粘土で薄く覆い（スムーズング）実際の地形を復元していった。

空堀、曲輪、土塁など城郭施設を確認するため現地調査を行うこととした。



【第 11 回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
11月9日	生物教室	11名	ジオラマ作成、現地調査用ジオラマ作成、岩石研磨
<p>【実施内容】</p> <p>松森城趾の現地調査を行うにあたり、さらに小型のジオラマを作成して持参することとした。一方、城趾ジオラマだけでなく、当地に居城していたと思われる「三崎水軍」が、来島村上氏に滅ぼされたとされており、松森城で攻防が繰り返されたと想像しミニチュア兵士なども作成することとした。</p>			
			

【第 12 回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
11月11日	河内・亀浦	2名	河内八坂神社・亀浦客神社
<p>【実施内容】</p> <p>河内地区にある八坂神社を参拝し、鳥居、狛犬をはじめとした溪谷美を鑑賞した。亀浦地区に行く途中茅裏トンネル付近の石仏に刻まれた文字が誰にでもわかるような「くずし字」で書かれていることがわかった。</p> <p>亀浦地区の客神社では、狛犬の足にまわりつく子どもの狛犬が掘られており、微笑ましさを感じた。</p>			
			

【第13回ゼミ】

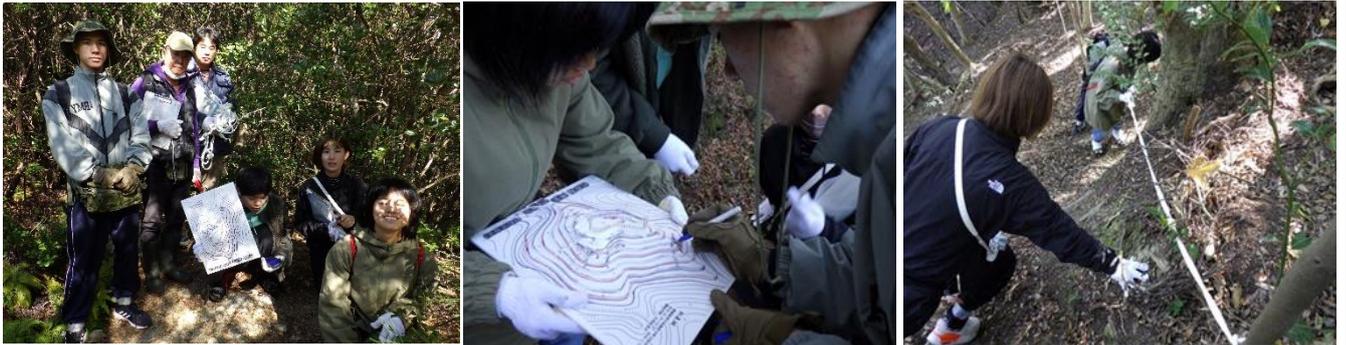
実施日	場所	人数	場所・内容
11月19日	松森城趾・伽藍山	3名	松森城趾現地確認・伽藍山釈迦の洞

【実施内容】

前回作成した、松森城趾の小型ジオラマを持参して現地確認を行った。曲輪、空堀、塹堀、石垣、土塁など軍事施設の痕跡を確認することができ、ジオラマにマーキングした。急峻な箇所が多く、ロープを張りスパイク付きオーバーシューズを履くなど安全面に配慮しながら作業を進めた。

なお、新たな石垣、井戸跡、投石に使用されたとと思われる玉石などの発見もあった。

松森城趾調査を終え、伽藍山と釈迦の洞を見学した。



【第14回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
11月21日	地歴室	4名	講演会「三崎水軍の実像」

【実施内容】

2013年から3年間三崎高校勤務された中平景介先生（松山西中等教育学校勤務）を招いて、三崎水軍の実像の講演をしていただいた。特に、三崎水軍が来島村上氏に同士討ちとなったこと、その戦いがどこで行われたかなど、相談しながら想像力を高められた講演となった。



【第15回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
12月7日	生物教室	7名	松森城ジオラマ作成:最終

【実施内容】

紙粘土で覆ったジオラマを削り、曲輪、空堀、塹堀など軍事施設を完成させペインティングを行った。一方、ミニチュア兵士達の衣装や武器などをネットで検索しながらペインティングを行った。

松森城ジオラマ製作の成果を佐田岬みつけ隊総会で発表することとした。



【第16回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
12月10日	佐田岬半島ミュージアム、松地域	10名	佐田岬みつけ隊総会(ジオラマ発表)、松地区散策

【実施内容】

1. 松森城ジオラマ披露

佐田岬みつけ隊の定期総会が開かれ、この中で松森城趾ジオラマを披露した。披露するにあたりパワーポイントを用いて9月から行ってきた製作の経緯などを説明した。会場から、組み立て手順、苦労した点などの質問があったが、その一つ一つの的確な回答ができた。

なお、後日、毎日新聞などに大きく取り上げられ知名度を上げることができた。

2. 松地区散策

午後から見舞崎、松集落を散策した。

- ① 見舞崎では緑色片岩に火山岩(玄武岩)が貫入し赤く変色した帯となっている所や精錬跡の「カリミ」が散乱している所などを見ることができた。
- ② 松集落は、海拔60m~100mまでの海岸段丘の上であり、この段丘に水場や井戸があり生活用水としていた。海岸には集落はなく、自然木利用した小屋にトタン屋根の船倉があり漁に出るときばかりでなく畑への移動や薪を取りに行くのに使うなど陸路に行くより効率的な交通手段だったことを知ることができた。



### 【第17回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
12月12日	生物教室	5名	今後の方針打合せ、岩石プレパラート観察

#### 【実施内容】

1月ゼミの基礎知識として、偏光顕微鏡による岩石プレパラート観察を行った。顕微鏡の仕組みはともかく、ステージを回転させることによって色が変化的ことや、組織（形）などがはっきり見えることなどを知ることができた。



【第18回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
1月8・9日	瀬戸アグリトピア	10名	ジオ菓子作り、岩石プレパラート作り

【実施内容】

アグリトピアにて、1泊の研修で岩石研磨、岩プレパラート作りとジオ菓子作りをグループに分かれてじっくり取り組んだ。プレパラート作りは、岩石を0.03mmまで薄く削るのは難しかったが、なんとか偏光顕微鏡で造岩鉱物を確認できるようになった。

ジオ菓子作りでは、ゼリーを思ふような作品にするのは難しかったが、和菓子は、意外と簡単にできた。

○感想

お菓子作りなどを楽しく作ることができた。いつもとは違った活動だったので、ゆっくりで取り組めてとても良かった。

○感想

アグリトピアに宿泊したのが初めてで、宿泊もあり多少緊張していたが、とても楽しかった。念願のプレパラート作りは想像以上に難しかったが、達成感もすごかった。

最終日に偏光顕微鏡での各鉱物の同定方法を詳しく教えてもらった。花崗岩のプレパラートを見ると石英の結晶が分かってきた。再度挑戦したい。

ジオお菓子では、抹茶寒天の可能性が結構見えたので是非改良したいと思った。

○今後やりたいこと

プレパラート作り、昆虫の標本づくり、ライトトラップ、岩石観察、最近の出来事を巻物にする(くずし字で)、さらに地域の生活について知りたい。



### 【第19回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
1月27日	宇佐方面	4名	大分県立博物館、宇佐神宮

#### 【実施内容】

大分県立博物館では、信仰について、分かりやすくプロジェクションマッピングで表現した展示に心を奪われた。

八幡様の総本宮として古来より親しまれてきた宇佐神宮では、ゆったりと歴史を感じることができた。



【第 20 回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
2月8日	別府方面	6名	八幡朝見神社、竹瓦小路、温泉地獄

【実施内容】

八幡朝見神社では、樹齢 1000 年のくすの木や虫の観察など自然を満喫した。竹瓦小路では木造アーケードが健在であることを確認できた。海地獄では、温泉の成り立ちを感じたほか、そこに安置されている石仏なども観察し、同年代に作られたものでも彫刻手法の違いがあることを知った。明礬温泉では、湯ノ花が硫黄であることを知った。佐賀関の海岸では、佐田岬半島と同じ結晶片岩が見られるものの緑色片岩は少なく、ほとんどが黒色片岩だった。

なお、慶長元年の大地震で別府湾に浮かんでいた瓜生島が一瞬で沈んでしまったという謎があるという。



【第 21 回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
3月5日	地歴室	4名	地震と断層について

【実施内容】

2月26日に長浜付近を震源とする地震があった。「中央構造線が動いたのではないか」「前面海域に活断層があり能登半島とよく似ている」「中央構造線や南海トラフの影響は」という疑問があり地震と断層について説明するとともに、防災について話し合った。

○感想

色々と感じていることを聞けたので楽しかった。今まであまり調べてこなかったことについて知れたのでよかった。三崎高校が津波にもものすごく強いことや、地震同士の関係もよくわかった。今まで知らなかったことが知れて、楽しかった。

【第22回ゼミ】

実施日	場所	人数	場所・内容
3月7日	女子岬・塩成	5名	女子岬灯台、精錬所跡、海岸散策・塩成ラグーン跡、供養様など

【実施内容】

1. 女子岬（灯台、精錬所跡、海岸散策）

○感想

女子岬では、灯台も精錬所も見られて良かった。

三崎精錬所と女子岬精錬所のからみの捨て方の違いだとか、残っているものだとか、同じ銅の精錬所だけど特徴があって、また新鮮だった。

女子岬を遠くから見たら本当に横たわっている女性の姿に見えて面白かった。

女子岬の特徴を捉え、落ちているものなど他のところとは異なる点（三崎精錬所に比べカラムが細かく砕かれていた）を見つけることができた。

レンガの形がまだ結構残っていて驚いた。なにより無事海にたどり着けて良かった。

鉱業関連の遺構が見られて最高だった。どんな感じで使われていたのか気になった。

2. 塩成（ラグーン跡、ライオン岩、供養様など）

○感想

ラグーンの跡も、難しかったけれど最終的には分かったのでも、地形などを気にしながら旅するのも楽しそうだなと思った。

普段気にすることのなかった用水路について知れたので良かった。ジオラマを作ってみたい。

用水路や井戸の様子を確認し、どうなっていたのか理解できた。

今度機会があれば洞窟に行きたい。

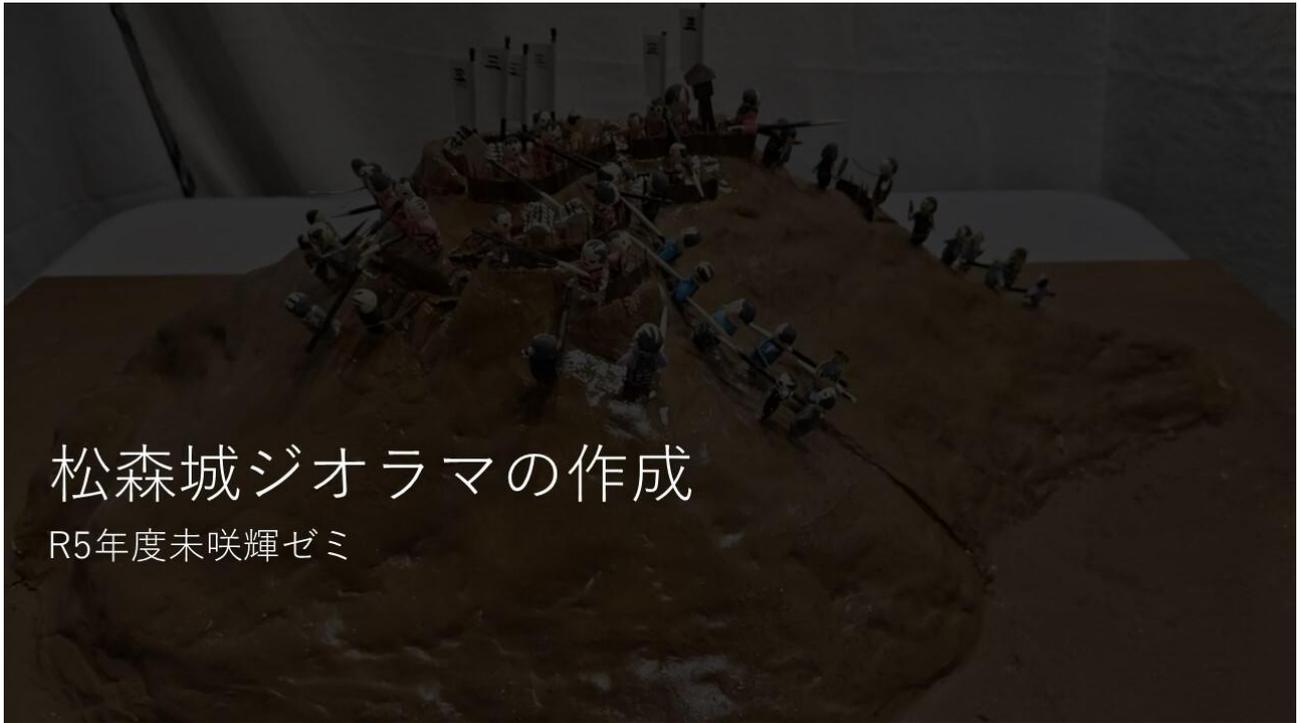


【その他】

実施日	場所	人数	場所・内容
10月21日	川之浜	1名	ミニ88ヶ所石仏調査
			

実施日	場所	人数	場所・内容
10月22日	伽藍山ほか	1名	釈迦の洞、番匠鼻、小島海岸
			

実施日	場所	人数	場所・内容
2月12日	中之浜ほか	1名	中之浜係留石拓本、伊方越港地層見学
			



# 松森城ジオラマの作成

R5年度未咲輝ゼミ



事前調査（概略地形、パネルの寸法などを確定）



縄張り図を見ながら作業手順を打合せ



パネル作成開始



パネルに縄張り図を貼り付け



等高線 5mおきに、それぞれ赤色、青色で着色



青色、赤色の等高線に沿ってパネルカットを開始



ニクロム線カッターでパネルをカット



ジオラマパネルの組み立て



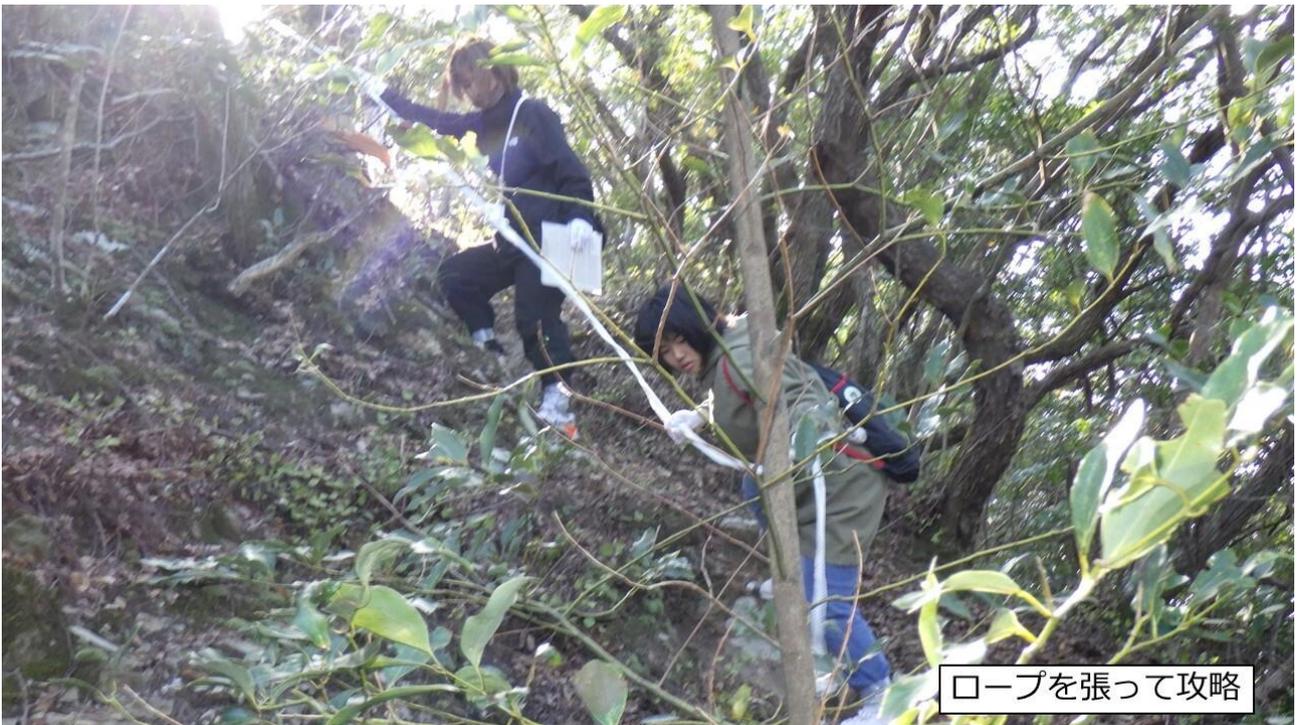
ジオラマの骨格組み立てを完成







縄張り図やA3サイズのジオラマを持って現地を確認



ロープを張って攻略



新たに石垣を発見



松森城の攻略を終了



松森城ゆかりの「三崎水軍の実像」について特別講演  
講師は、三崎高校の元教諭中平先生



三崎水軍・松森城について意見交換



兵士たちの武具や衣服に着色



曲輪、空堀、豎堀にど防御施設の作りだし



3 「今を創る、未来を変えるトライブ」ポスター

# IRIDE

## 今を創る

2023 1218<sup>mon</sup> \_\_\_\_\_ 2023 1219<sup>tue</sup>



**PARTICIPATION**

愛媛県	宮崎県
小松高等学校	藤野高等学校
丹原高等学校	京都府
東温高等学校	立命館宇治高等学校
三崎高等学校	
高知県	
清水高等学校	

**VENUE**

12月19日(火)  
9:00 - 12:00 一般公開

伊方町 役場  
6階 大会議室

**HELD**

三崎高等学校

## 未来を変える

# TRIBE